

第4次水道事業総合計画の検証について

令和3年12月
経営審議会

目 次

1.第4次総合計画の概要

1) 目的と位置付け	4
2) 基本理念及び基本目標	5
3) 施策体系	6

2.計画の進捗状況

1) 給水人口比較	8
2) 有収水量比較	9
3) 施策目標に係る事業費の執行状況	10
4) 令和2年度の実施状況(4本柱)	11
5) 令和2年度の収支比較	17
6) 令和2年度の指標比較	19
7) 計画の見直し	21

※金額は全て消費税抜きです。

1.第4次総合計画の概要

- 1) 目的と位置付け
- 2) 基本理念及び基本目標
- 3) 施策体系

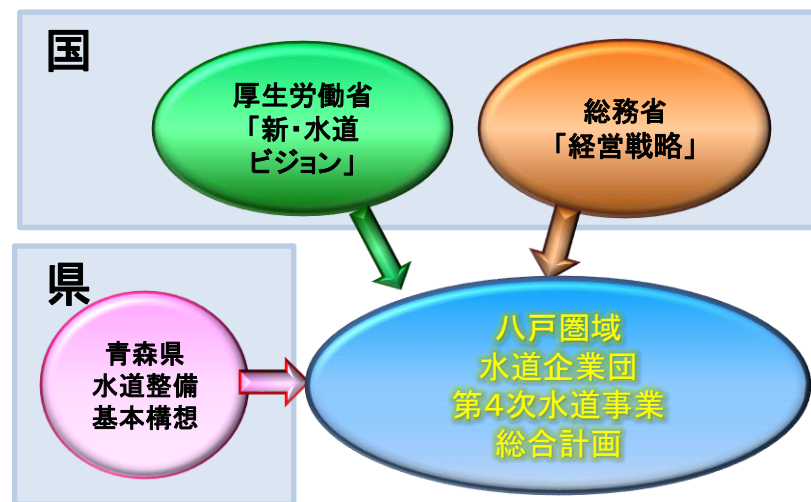
1) 計画の目的と位置付け

①目的

「安全・安心な水道」、「強靱な水道」及び「水道サービスの持続」の施策目標を確実に達成するため、将来像を見据えた「第4次水道事業総合計画」を策定しました。

②位置付け

第4次水道事業総合計画は、厚生労働省の「新・水道ビジョン」と総務省の「経営戦略」を包含し、これから10年間にやるべき運営方針を示しました。



年度	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
認可計画	創設認可 (S61.3.25)		第1期拡張事業変更認可 (S62.12.26)													変更認可 (H13.3.30)				変更届 (H17.3.24)			
総合計画			第1次総合計画 (S62.12)											第2次総合計画 (H11～H20)									
財政計画	第1次 (S61～S63)			第2次 (H1～H2)		第3次 (H3～H5)			第4次 (H6～H8)			第5次 (H9～H13)				第6次 (H14～H17)				第7次 (H18～H22)			

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
認可計画	変更届 (H17.3.24)			変更認可 (H24..3.30)		変更届 (H26.2.6)														
総合計画	第3次総合計画(H21～H30) 「おらほの水ビジョン2009」										第4次総合計画(R1～R10) 「はちのへ水ビジョン2019」									
財政計画	第7次 (H18～H22)		第8次 (H23～H26)				第9次 (H27～H30)				第10次予定 (R1～R4)				第11次予定 (R5～R7)			第12次予定 (R8～R10)		

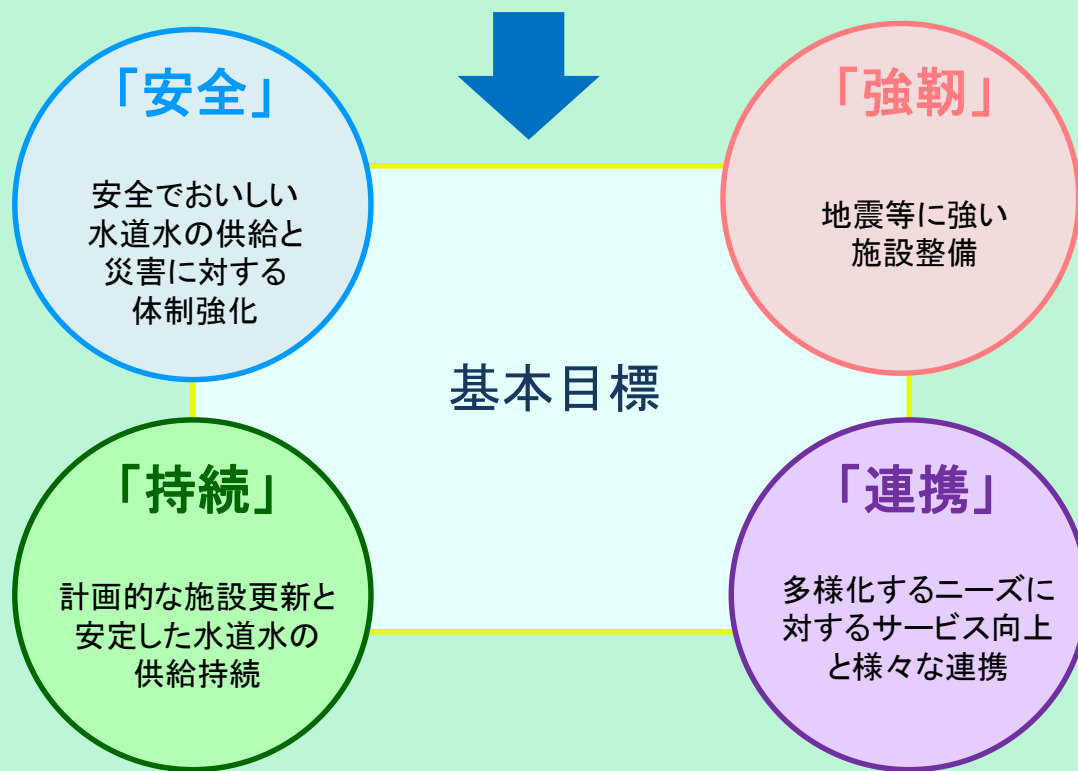
2) 基本理念及び基本目標

基本理念

「地域の水を守るため進化し続ける八戸圏域水道」

「安全」「強靱」「持続」「連携」

4つの視点による現状と課題の分析により、
課題解決に向けた目標設定

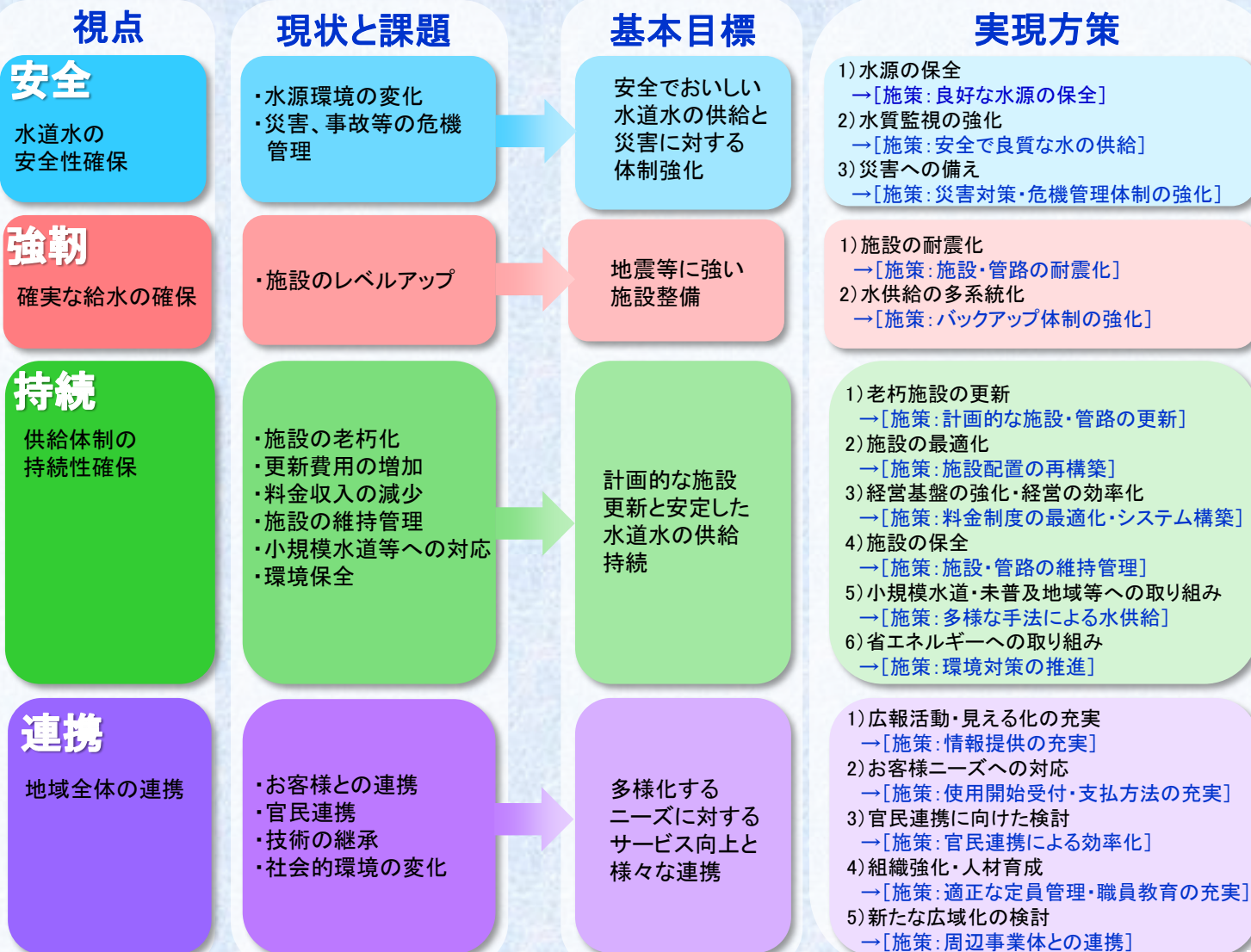


3) 施策体系

4つの視点による現状と課題を踏まえ目標を達成するための「実現方策」を示します。

基本理念

地域の水を
守るため
進化し続ける
八戸圏域水道



2.計画の進捗状況

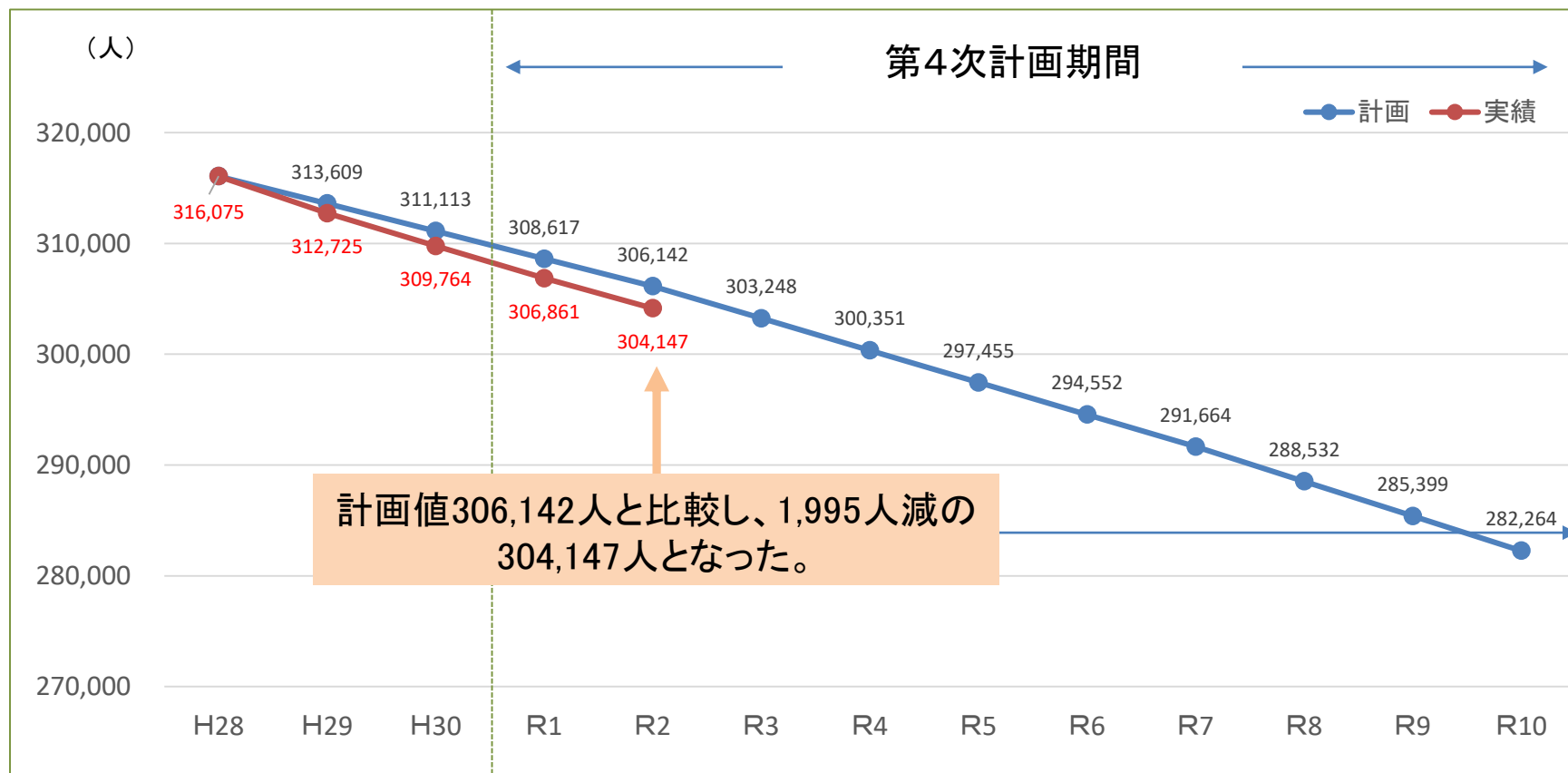
- 1) 給水人口比較
- 2) 有収水量比較
- 3) 施策目標に係る事業費の執行状況
- 4) 令和2年度の実施状況(4本柱)
- 5) 令和2年度の収支比較
- 6) 令和2年度の指標比較
- 7) 計画の見直し

1) 給水人口比較

(補足資料2ページ)

(単位:人)

	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028
計画	313,609	311,113	308,617	306,142	303,248	300,351	297,455	294,552	291,664	288,532	285,399	282,264
実績	312,725	309,764	306,861	304,147								
増減	△884	△1,349	△1,756	△1,995								

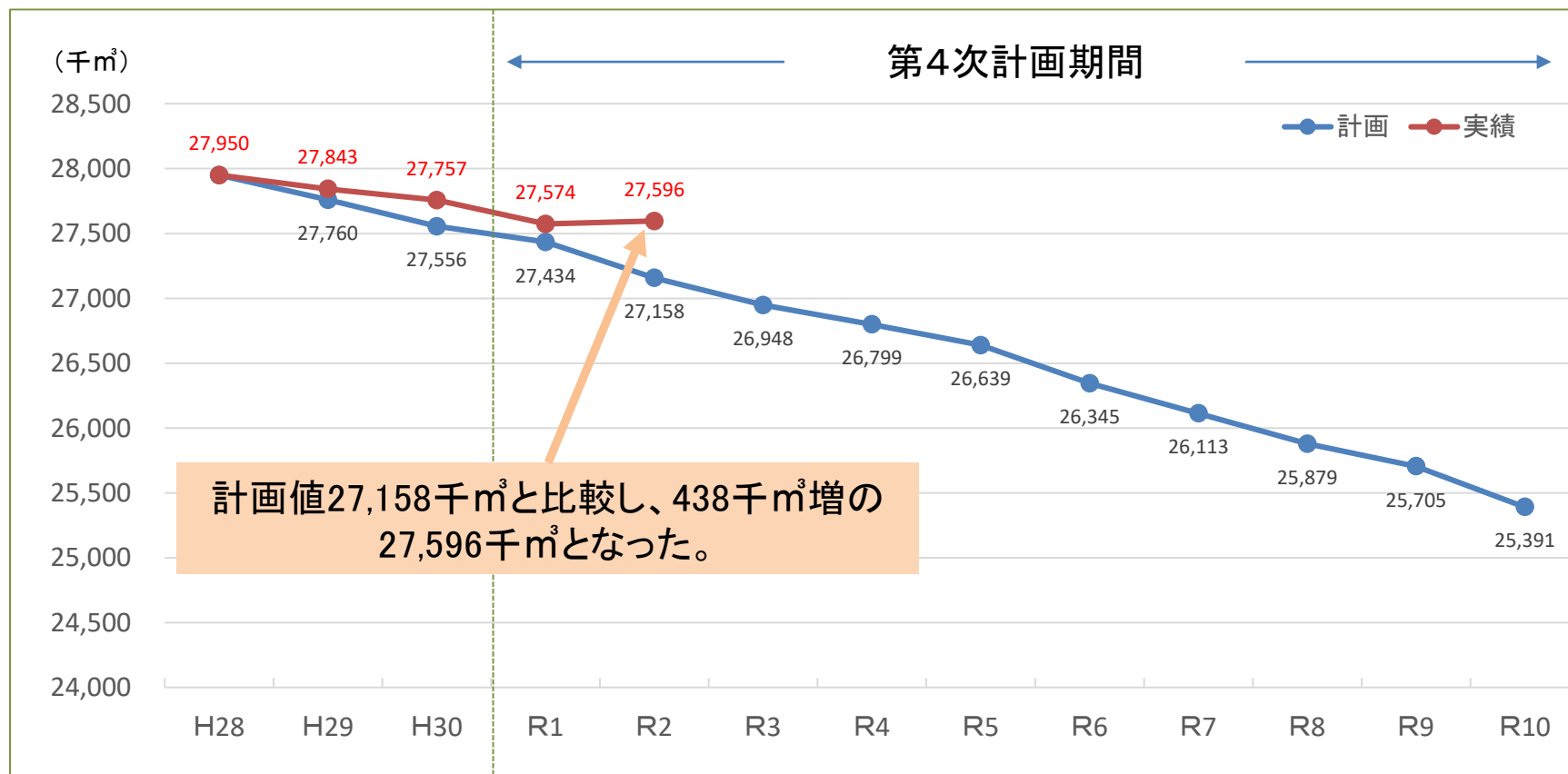


2) 有収水量比較

(補足資料2ページ)

(単位: 千 m^3)

	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028
計画	27,760	27,556	27,434	27,158	26,948	26,799	26,639	26,345	26,113	25,879	25,705	25,391
実績	27,843	27,757	27,574	27,596								
増減	+83	+201	+140	+438								



3) 施策目標に係る事業費の執行状況

(令和2年度分)

(単位:千円)

4 本 柱	計画額(A)	執行額(B)	増減額(B)-(A)
I 安 全	77,895	84,361	6,466
II 強 靱	104,602	43,831	△60,771
III 持 続	5,383,408	4,423,379	※ △960,029
IV 連 携	27,730	26,948	△782
計	5,593,635	4,578,519	△1,015,116
2年度の執行率 (B)/(A)			81.9%

※ III 持続の△960,029千円は、大規模工事の進捗遅れによる影響が大きい。

(補足資料3ページ)

4) 令和2年度の実施状況(4本柱)

(補足資料4ページ)

I 安全

施 策	事業数	うちR2年度 対象数	実施状況		
			実施	未実施	中止
(1)水源の保全	3	3	3	0	0
(2)水質監視の強化	14	10	9	0	1
(3)災害への備え	4	3	3	0	0
計	21	16	15	0	1

・主な取り組み

馬淵川水利権更新申請

ガスクロマトグラフ質量分析計ほか水質検査機器更新

馬渡川(蟹沢水源近隣河川)水質監視機器設置

非常用備蓄水(500ml)の製造・備蓄

概ね順調です。



4) 令和2年度の実施状況(4本柱)

(補足資料5ページ)

Ⅱ 強靱

施 策	事業数	うちR2年度 対象数	実施状況		
			実施	未実施	中止
(1)施設の耐震化	5	3	3	0	0
(2)水供給の多系統化	2	0	0	0	0
計	7	3	3	0	0

・主な取り組み

重要給水施設配水管路の耐震化

馬淵配水塔送水管の耐震化

概ね順調です。



4) 令和2年度の実施状況(4本柱)

(補足資料3・6・7ページ)

Ⅲ 持続

施 策	事業数	うちR2年 度対象数	実施状況			
			実施	(うち追 加実施)	未実施	中止
(1)老朽施設の更新	7	6	6		0	0
(2)施設の最適化	8	3	5	(2)	0	0
(3)経営基盤の強化・経営の効率化	8	7	5		2	0
(4)施設の保全	5	4	5	(1)	0	0
(5)小規模水道・未普及地域等への取り組み	2	2	1		1	0
(6)省エネルギーへの取り組み	3	3	3		0	0
計	33	25	25	(3)	3	0

・主な取り組み

馬淵川系導水管更新事業

浄水施設の更新・改良(白山中央監視制御設備更新ほか)

配水施設の更新・改良(白山配水本管・流量計室更新ほか)

耐震管による老朽管更新・送水管整備

八戸大橋添架管更生

浄水発生土の有効利用(リサイクル)

大規模工事に遅れが生じていますが、計画期間内に終了できる見込みです。



4) 令和2年度の実施状況(4本柱)

(補足資料8ページ)

IV 連携

施 策	事業数	うちR2年度 対象数	実施状況		
			実施	未実施	中止
(1)広報活動・見える化の充実	7	6	5	1	0
(2)お客さまニーズへの対応	5	3	3	0	0
(3)官民連携に向けた検討	3	3	3	0	0
(4)組織強化・人材育成	4	4	4	0	0
(5)新たな広域化の検討	1	1	1	0	0
計	20	17	16	1	0

・主な取り組み

広報紙「おらほの水」の定期発行(年4回)

インターネット受付の導入

スマートメーターの調査・研究(東北電力との共同実証実験ほか)

研修による人材の育成

周辺事業体等との新たな広域化の検討(北奥羽地区水道事業協議会など)

概ね順調です。



5) 令和2年度の収支比較

(補足資料9～12ページ)

• 収益的収支

(単位: 千円)

	項 目	計画額	決算額	増減額
収 入	給水収益	7,127,438	7,261,355	133,917
	構成団体負担金	31,177	29,586	△1,591
	長期前受金戻入	892,761	905,897	13,136
	その他の収益	277,440	285,153	7,713
	収入合計	8,328,816	8,481,991	153,175
支 出	人件費	975,931	1,084,729	108,798
	修繕費	1,534,478	1,363,540	△170,938
	委託料	795,402	745,263	△50,139
	動力・薬品費	429,632	325,809	△103,823
	減価償却費等	3,470,272	3,457,115	△13,157
	支払利息	223,094	188,696	△34,398
	その他の経費	329,629	269,101	△60,528
	支出合計	7,758,438	7,434,253	△324,185
収支差引		570,378	1,047,738	477,360

5) 令和2年度の収支比較

(補足資料9～12ページ)

- 資本的収支

(単位: 千円)

	項 目	計画額	決算額	増減額
収 入	企業債	1,300,000	700,000	△600,000
	国庫補助金	267,561	352,014	84,453
	その他の収入	269,033	264,339	△4,694
	収入合計	1,836,594	1,316,353	△520,241
支 出	建設改良費	4,581,695	3,711,813	△869,882
	企業債償還金	949,814	928,146	△21,668
	その他の支出	0	11,453	11,453
	支出合計	5,531,509	4,651,412	△880,097
収支差引		△3,694,915	△3,335,059	359,856

5) 令和2年度の収支比較

(補足資料9～12ページ)

財源(運転資金)

(単位:千円)

項 目	計画額 A	決算額 B	増減額 B-A
総 収 入	10,165,410	9,798,344	△367,066
総 支 出	13,289,947	12,085,665	△1,204,282
内部留保資金	2,577,511	2,550,799	△26,712
単年度過不足額	△547,026	263,478	810,504
前年度からの繰越財源	1,869,336	4,428,492	2,559,156
翌年度への繰越財源	1,322,310	4,691,970	3,369,660

翌年度への繰り越し財源の増について

令和3年度以降使用予定のある財源

予算繰越に係る財源(令和3年度使用)

666,454千円

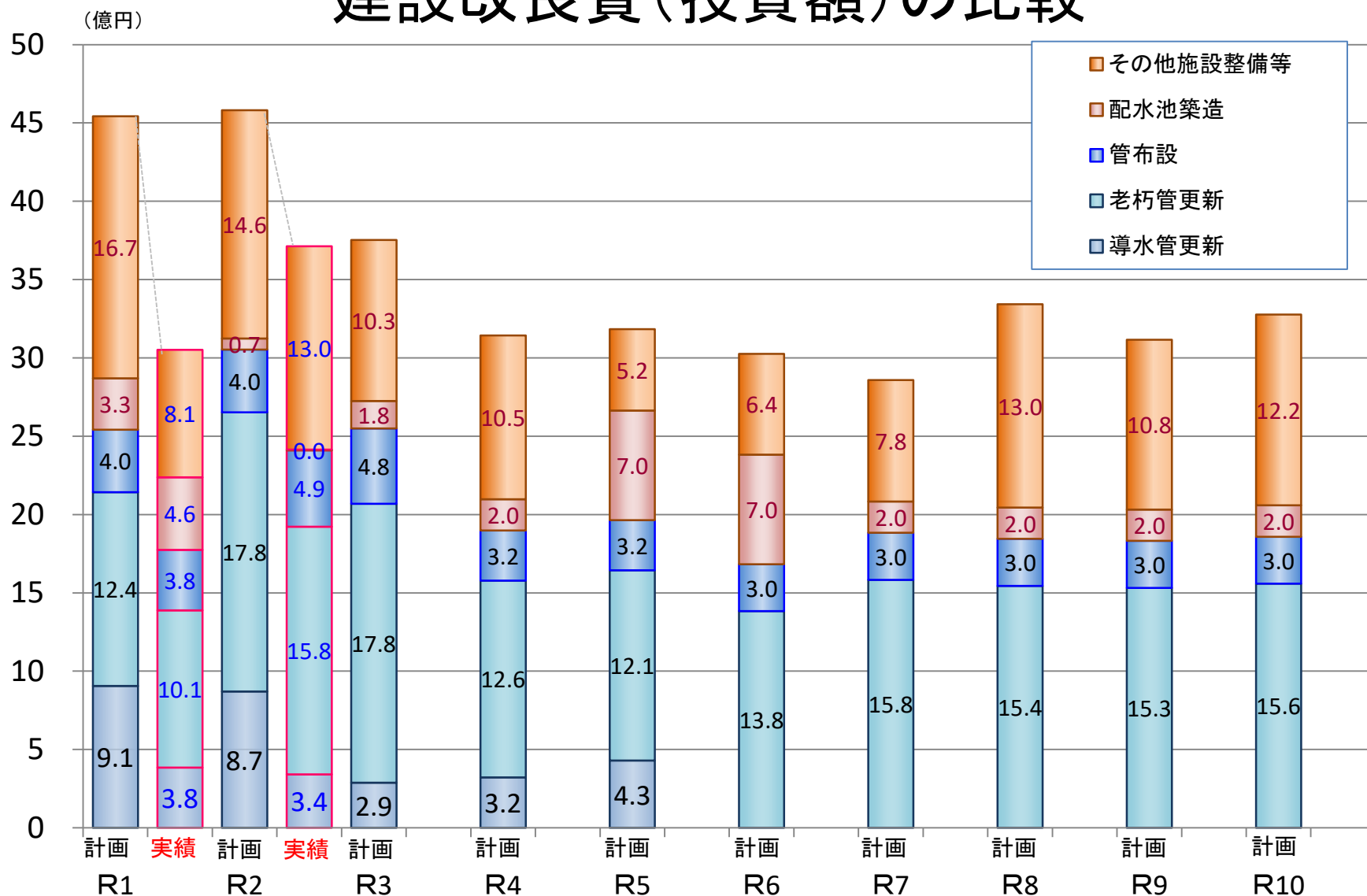
大規模継続工事の進捗遅れによる財源
(令和3年度から5年度で使用予定)

1,347,757千円

2,014,211千円

5) 令和2年度の収支比較

建設改良費(投資額)の比較



6) 令和2年度の指標比較

(補足資料13～14ページ)

①重要業績評価指標

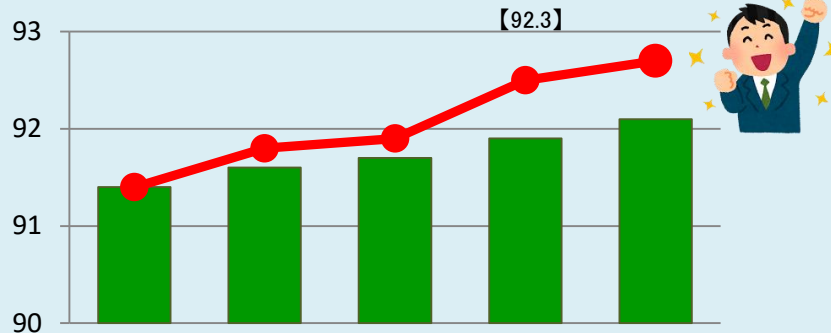
【 】全国平均(R01)

グラフ凡例

■ 計画
● 実績

① 有効率(%)

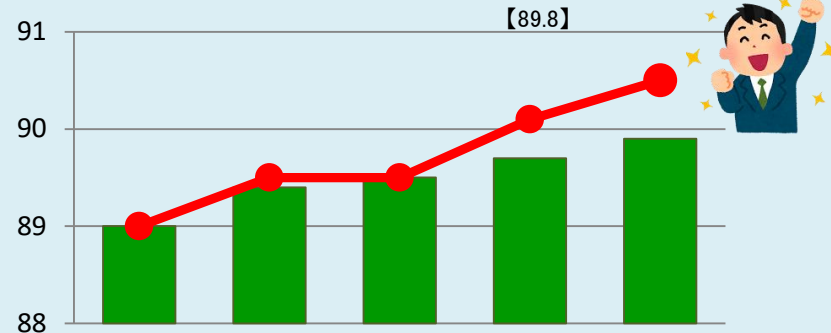
計画を上回った



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	91.4	91.6	91.7	91.9	92.1
実績	91.4	91.8	91.9	92.5	92.7

② 有収率(%)

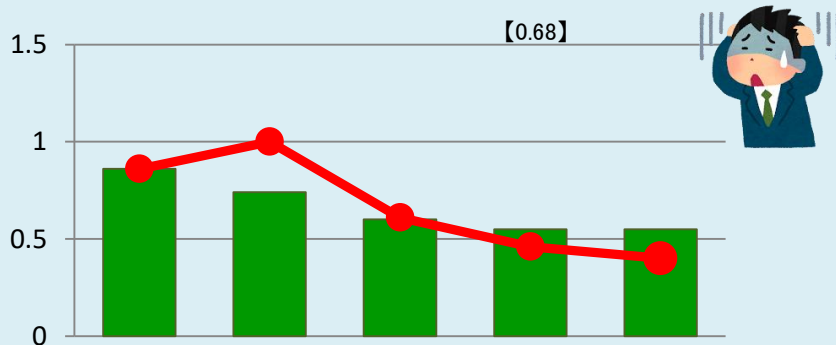
計画を上回った



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	89.0	89.4	89.5	89.7	89.9
実績	89.0	89.5	89.5	90.1	90.5

③ 管路の更新率(%)

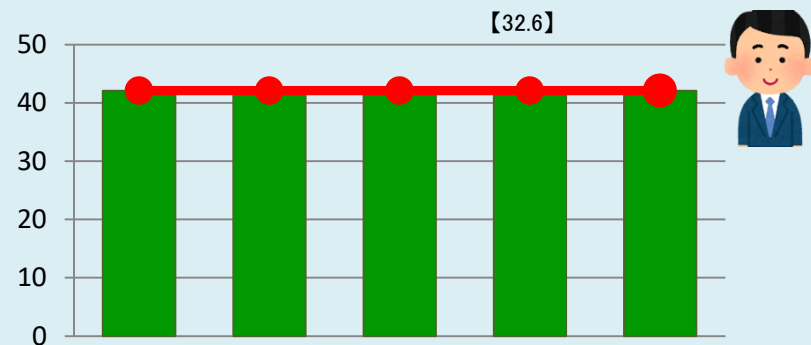
計画を下回った



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	0.86	0.74	0.60	0.55	0.55
実績	0.86	1.00	0.61	0.46	0.40

④ 浄水施設の耐震化率(%)

計画と同じ



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	42.1	42.1	42.1	42.1	42.1
実績	42.1	42.1	42.1	42.1	42.1

6) 令和2年度の指標比較

(補足資料13～14ページ)

①重要業績評価指標

【 】全国平均(R01)

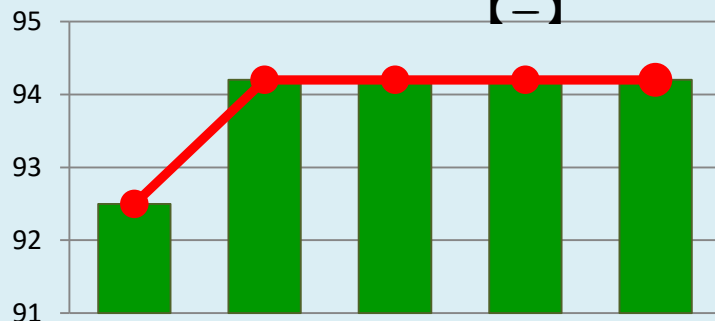
グラフ凡例

■ 計画
● 実績

⑤ ポンプ所の耐震化率(%)

計画と同じ

【－】

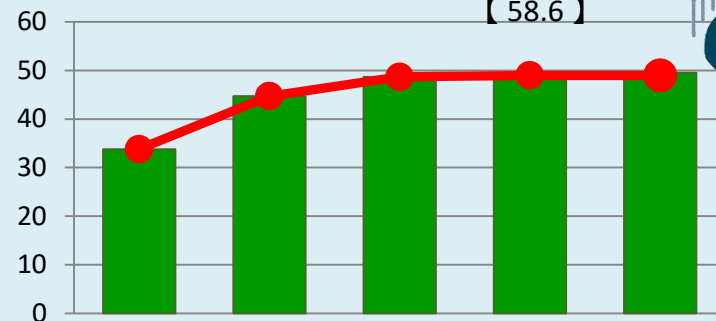


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	92.5	94.2	94.2	94.2	94.2
実績	92.5	94.2	94.2	94.2	94.2

⑥ 配水池の耐震化率

計画を下回った

【58.6】

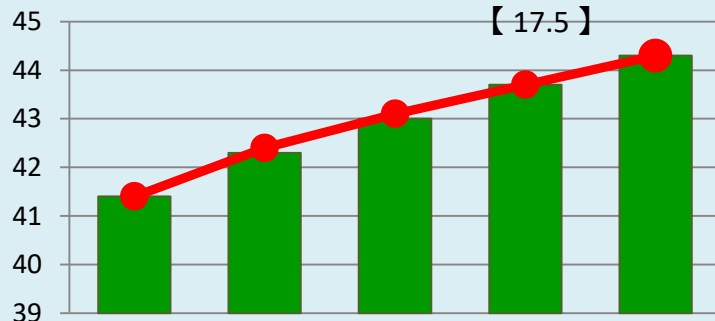


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	33.8	44.7	48.7	48.7	49.5
実績	33.8	44.7	48.7	49.0	49.0

⑦ 管路の耐震管率(%)

計画と同じ

【17.5】

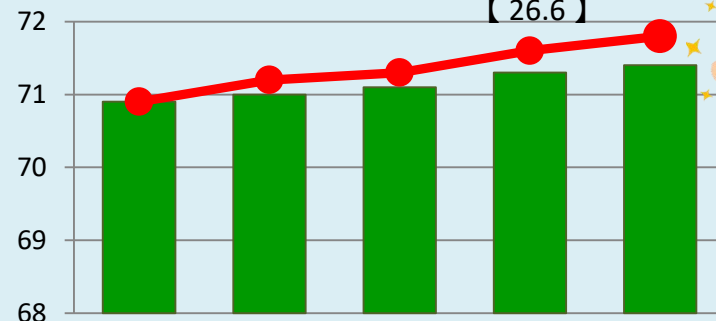


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	41.4	42.3	43.0	43.7	44.3
実績	41.4	42.4	43.1	43.7	44.3

⑧ 基幹管路の耐震管率(%)

計画を上回った

【26.6】



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	70.9	71.0	71.1	71.3	71.4
実績	70.9	71.2	71.3	71.6	71.8

6) 令和2年度の指標比較

(補足資料15～16ページ)

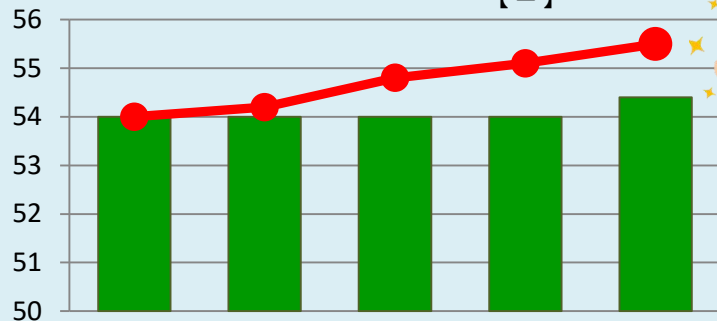
①重要業績評価指標

⑨重要給水施設

配水管路の耐震管率(%)

計画を上回った

【-】



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	54.0	54.0	54.0	54.0	54.4
実績	54.0	54.2	54.8	55.1	55.5

②経営指標

【 】全国平均(R01)

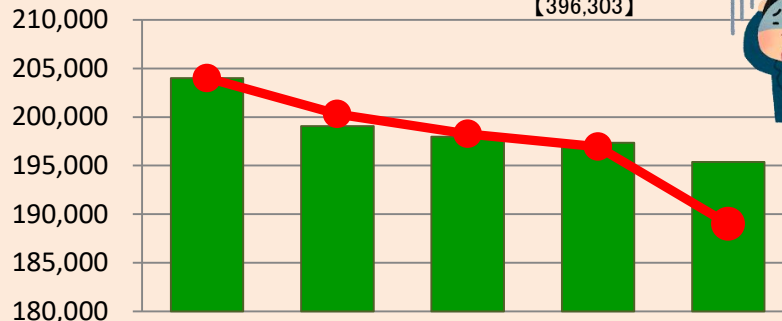
グラフ凡例

■ 計画
● 実績

①職員一人当たり有収水量(m³/人)

計画より悪かった

【396,303】



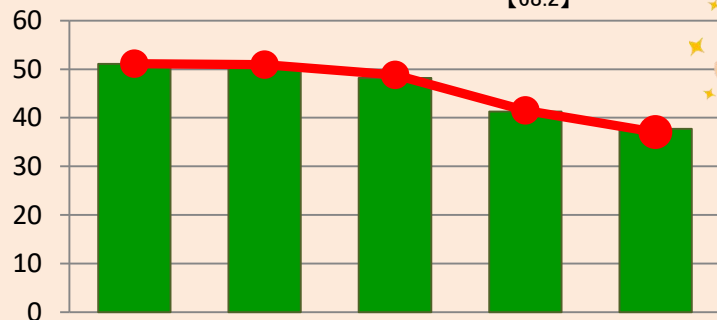
	H28	H29	H30	R01	R02
計画	204,015	199,055	197,986	197,369	195,383
実績	204,015	200,311	198,265	196,958	189,015

②企業債償還元金対

減価償却費比率(%)

計画より良かった

【68.2】

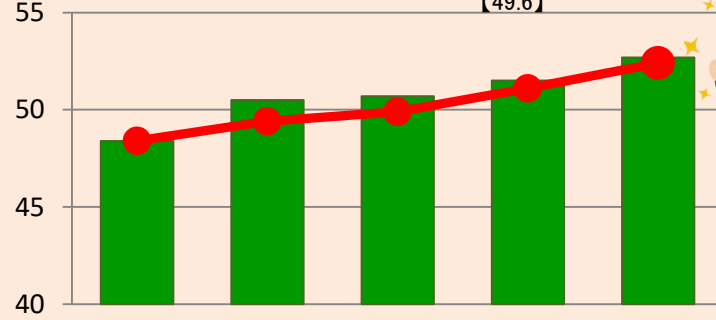


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	51.1	50.7	48.2	41.3	37.7
実績	51.1	50.9	48.8	41.5	37.0

③有形固定資産減価償却率(%)

計画より良かった

【49.6】



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	48.4	49.5	50.7	51.5	52.7
実績	48.4	49.4	49.9	51.1	52.4

6) 令和2年度の指標比較

(補足資料15～16ページ)

②経営指標

【 】全国平均(R01)

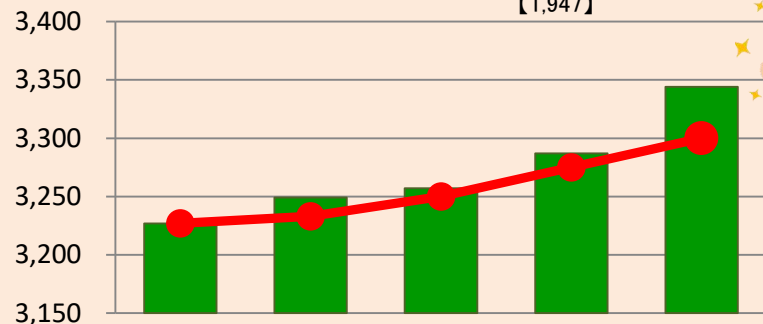
グラフ凡例

■ 計画
● 実績

④有収水量1㎡当たり 資産合計(円/㎡)

計画より良かった

【1,947】

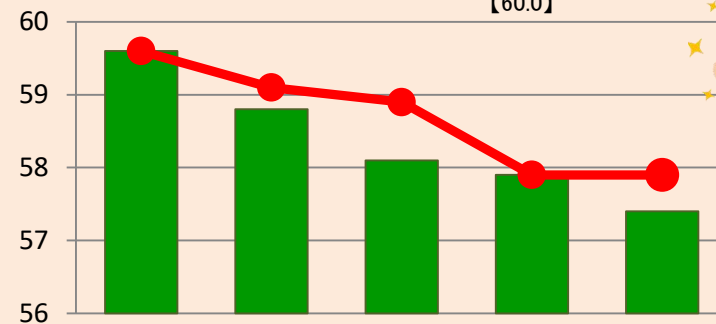


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	3,227	3,249	3,257	3,287	3,344
実績	3,227	3,233	3,250	3,275	3,300

⑤施設利用率(%)

計画より良かった

【60.0】

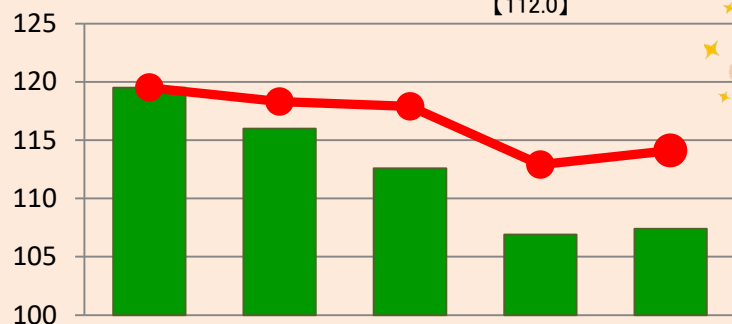


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	59.6	58.8	58.1	57.9	57.4
実績	59.6	59.1	58.9	57.9	57.9

⑥経常収支比率(%)

計画より良かった

【112.0】

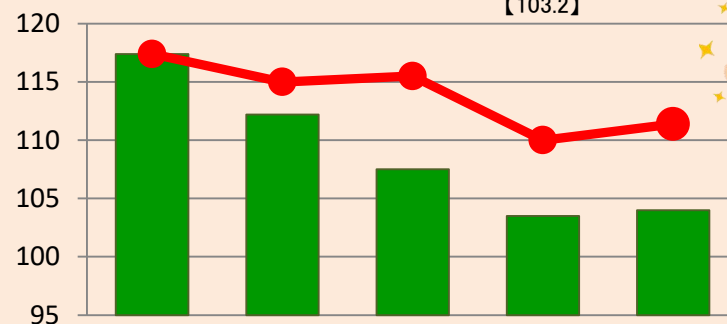


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	119.5	116.0	112.6	106.9	107.4
実績	119.5	118.3	117.9	112.9	114.1

⑦料金回収率(%)

計画より良かった

【103.2】



	H28	H29	H30	R01	R02
計画	117.4	112.2	107.5	103.5	104.0
実績	117.4	115.0	115.5	110.0	111.4

6) 令和2年度の指標比較

(補足資料15～16ページ)

②経営指標

【 】全国平均(R01)

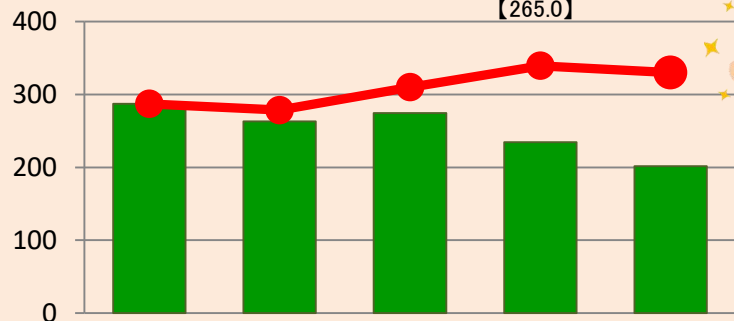
グラフ凡例

■ 計画
● 実績

⑧流動比率(%)

計画より良かった

【265.0】

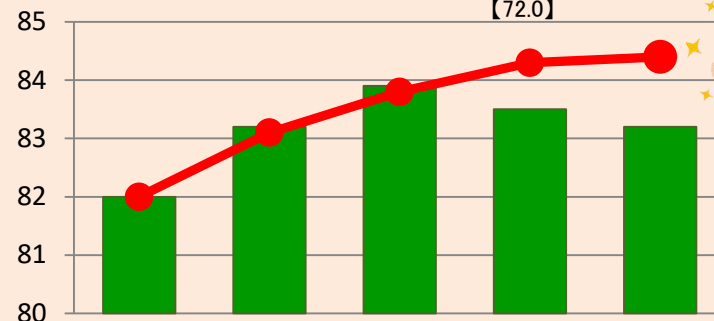


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	287.2	263.3	274.6	234.7	201.8
実績	287.2	278.5	309.9	339.4	330.2

⑨自己資本構成比率(%)

計画より良かった

【72.0】

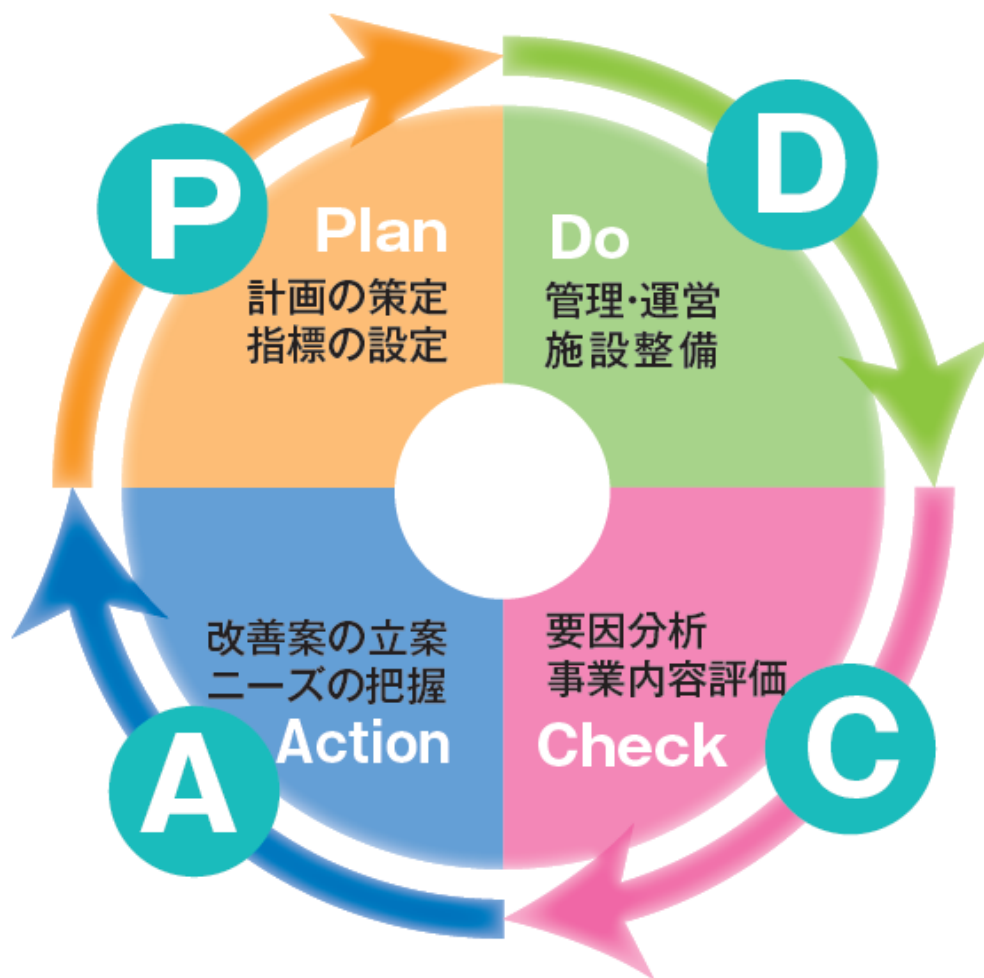


	H28	H29	H30	R01	R02
計画	82.0	83.2	83.9	83.5	83.2
実績	82.0	83.1	83.8	84.3	84.4

7) 計画の見直し

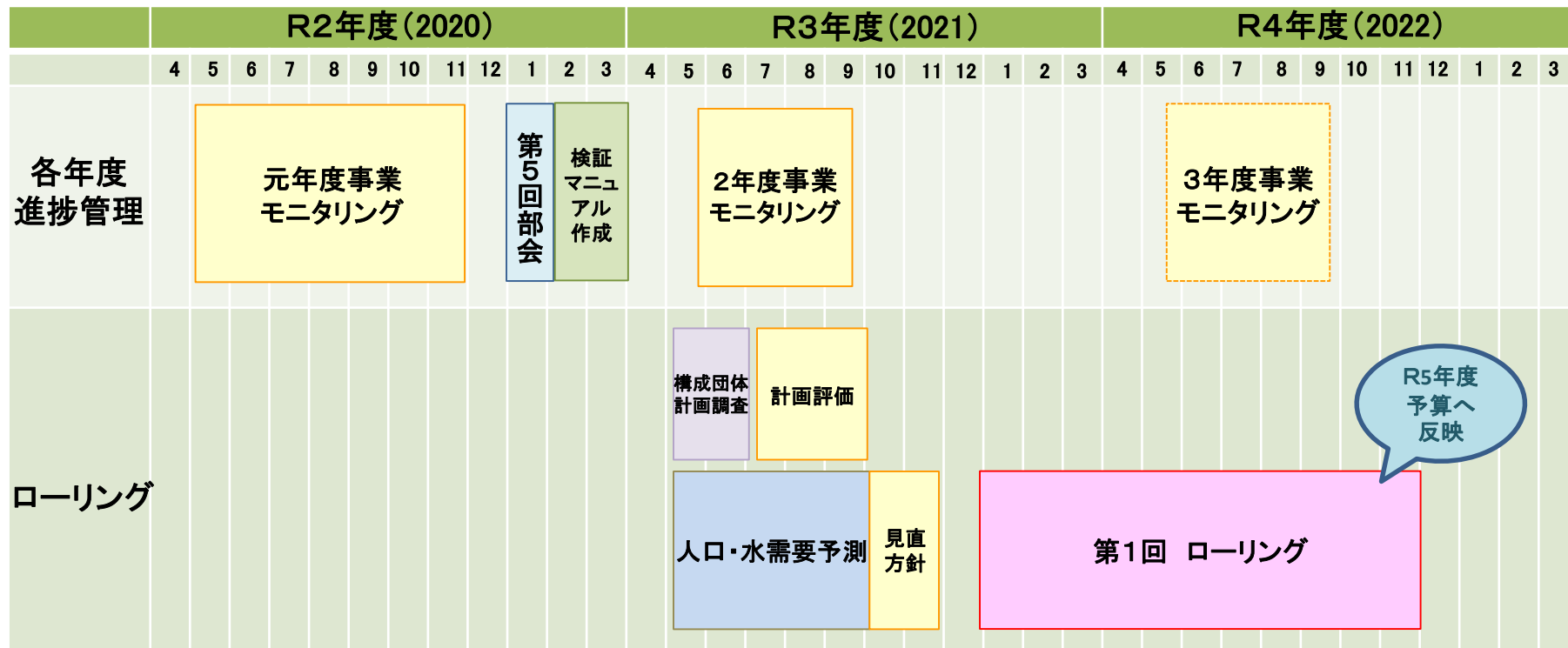
PDCAサイクル

事業を総合的に評価しながら、PDCAにより見直しや修正を図り、計画の実行性を高めていきます。



7) 計画の見直し

第1回ローリングスケジュール(予定)



2年間の実績の評価・検証と現状を踏まえ、真に実効性のある事務事業の計上となるよう見直しを行います。

計画と実績に乖離があるものは、原因を分析し計画の見直しや再積算を実施します。

投資と財政のバランスを図り、健全な経営を維持しながら、効率的な投資を行い将来にわたって持続可能な水道事業運営に努めて参ります。